



一家一花運動を展開します

町民の皆さんに配布する一家一花運動の花の苗をきれいに咲かせていただくために、今月号から「**花の栽培管理方法**」などについてお知らせします。

1回目は、パンジーとビオラです（パンジーとビオラは同じスミレ科の植物で育て方は同じです）。



↑ 寄せ植えしたパンジーとビオラ

花の栽培管理（パンジー・ビオラ編）

日照条件	日向	土壌湿度	適湿	耐寒性	-10℃に耐える
------	----	------	----	-----	----------

◎植え付け

◆パンジーとビオラの植え付け時は、苗をポットから抜き、びっしりと張った白い根をはがすようにほぐしてから植えます。こうすることで新しい根が伸びやすくなり、根の張りも良くなります。植える前に、土にあらかじめゆっくりと効く粒状の肥料を混ぜ込みます。

※すぐに植えることのできる「**パンジーの土**」も市販されています。

◆日照不足は花付きを悪くするだけでなく、徒長（上に細く）を引き起こしますので、たっぷり日光に当てて育てます。

※ベランダの強い寒風は葉を紫色に変色させてしまうので風が当たらないように工夫が必要です。

◎日常の管理

◆花が咲き終わるとすぐ実になり栄養が摂取されるため、花を長く楽しむためには、枯れた花柄を花茎ごと摘み取ります（灰色カビ病の元になります）。

◎水遣り

◆土の表面が乾いたらたっぷりと与えます。冬場は水の凍結を避けるため、午前中に与えます。

※土が凍結してもパンジーは枯れません。土が凍結しても土が解けるとピンと回復します。

◎施肥

◆花は矢継ぎ早に咲いていきます。3月中は10日に1回の割合で、2000倍に薄めた液体肥料を与えるようにします。

◆3月以降の施肥は、葉や茎の間伸び、花付きの低下を引き起こしてしまうので、施肥は控えます。

◆4月以降は肥料を一切与えません。そうすることで、満開の花を長期間楽しむことができます。

◎病害虫対策

◆アブラムシ、灰色カビ病などの対策に専用の殺虫剤、殺菌剤を散布します。

◎問い合わせ先

長島町教育委員会社会教育課

☎ (86) 1111 [内線 2231]